

がん患者就労支援のためのアクションチェックリスト妥当性の検討に関する研究

1. 研究の対象

これから病院としてがん患者さんの就労支援に取り組みたいと思っている医療機関において、がん診療に携わっている医療専門職者

- ・ 県のがん診療連携協議会に入っている（国指定または県指定）
- ・ 現在ハローワークと社会保険労務士と両方との連携がない、または一方とは連携はある
- ・ 本調査実施をサポートする体制がある（院内における本アンケート配付、回収、催促、返送）

2. 研究目的・方法

研究実施期間：研究許可後 2 年間

近年、がん患者さんの就労問題が指摘されています。第 2 期がん対策推進基本計画では「働く世代へのがん対策の充実」、第 3 期がん対策推進基本計画では「就労を含めた社会的な問題（サバイバーシップ支援）」が重点課題とされ、医療機関におけるがん患者さんへの就労支援として、がん相談支援センターへの社会保険労務士やハローワーク職員配置など、構造的な整備が進められつつあります。しかしながら、具体的な支援プログラムが示されないまま、各施設での試行錯誤が行われています。さらに活動の主体となる病院は規模・体制が様々であり、画一的な支援の実施は非現実的であるため、各施設特性に応じた支援の検討が必要です。

本研究では、これから病院としてがん患者さんの就労支援に取り組みたいと思っている医療機関において、がん診療に携わっている多職種医療専門職者の方々を対象に、自己記入式によるアンケート（質問紙）調査を実施し、がん患者さんの就労支援のための「アクションチェックリスト」の妥当性を検討することを目的とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本アンケート（質問紙）にご記入いただいた回答を電子化した、数値データ（病院名及び氏名は記載不要）

4. 外部への試料・情報の提供・公表

本研究で得られたデータは、国立がん研究センター内研究事務局にて、研究責任者が保管・管理します。また、データを本研究以外の目的で使用したり、他の関係研究機関に提供したりすることはありません。ただし、本研究は国立がん研究センターの内部監査の対象となり、第 3 者が本研究で得られたデータを閲覧する可能性はあります。

本研究の成果は、国内外の学会にて発表するとともに、学術誌に投稿します。

5. 研究組織

研究代表者（研究責任者）：

高橋都 国立がん研究センターがん対策情報センターがんサバイバーシップ支援部長

研究協力者：

加藤明日香 国立がん研究センターがん対策情報センターがんサバイバーシップ支援部

吉川悦子 日本赤十字看護大学看護学部

吉川徹 労働安全衛生総合研究所 過労死等調査研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので、下記の連絡先までご連絡ください。

研究責任者：

国立がん研究センターがん対策情報センターがんサバイバーシップ支援部長

高橋 都

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

Tel: 03-3547-5201(内線 1643) Fax: 03-3547-6627